

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：4月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: contact@apir.or.jp

ポイント

●5月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

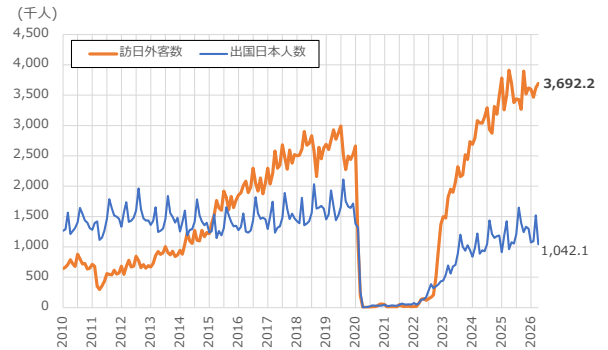
▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、4月の訪日外客総数(推計値)は**369万2,200人**であった。前年同月比**-5.5%**と、**3カ月ぶりのマイナス**。中国人客の大幅減少が続いていることに加え、4月は香港やイタリア、オーストラリアが減少したため訪日外客全体を押し下げた。欧州ではイースター休暇のズレ(25年：4月20日→26年：4月5日)で3月下旬と4月上旬に訪日需要が分散したことが影響した。また、**同月の出国日本人数は104万2,100人**。同+8.4%と2カ月連続のプラスとなった。ただし、19年同月比では-37.5%と依然コロナ禍前の水準を回復できていない。

▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、4月は**韓国が87万8,600人**(前年同月比+21.7%)と最多であった。次いで台湾が64万3,500人(同+19.7%)、中国が33万700人(同-56.8%)、米国が33万人(同+0.8%)、香港が22万6,000人(同-14.3%)と続く。**日中関係悪化の影響もあり中国人客は5カ月連続で大幅減少**した。なお、中東地域は2万2,300人で同-21.4%(前月：同-30.6%)、2カ月連続で大幅減少となった。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(表5)、2月は**346万6,848人**となった。前年同月比+6.4%、2カ月ぶりのプラス(前月：同-4.9%)。うち、**観光客は321万5,752人**となり、伸びは同+8.5%と2カ月ぶりのプラス(前月：同-6.2%)。一方、**その他客は17万3,309人**(同-13.1%)、**商用客は7万7,787人**(同-17.3%)であった。

▶IATA(国際航空運送協会)が6月7日に公表した“Global Outlook for Air Transport Energy in Crisis”によれば、世界の**旅客輸送需要量は前年比+2.1%**と、25年の同+5.3%から**増加幅は半減する見込み**である(図3)。主な要因としては中東情勢悪化に伴う、1) **運航コストの上昇**、2) **運航スケジュールの混乱**などが挙げられている。地域別で見れば、**中東が同-11.4%**と**大幅減少**に転じるほか、アフリカ、北米を除き、**増加幅はいずれも鈍化する**。6月19日に米国とイランとの和平合意が締結される見込みであるが、依然と先行きの不確実性は高い。このため、中東情勢混乱の長期化による**航空燃料価格の高止まり**とそれに伴う**航空運賃の上昇**が、引き続き訪日外客にとっては大きな下押しリスクとなろう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移

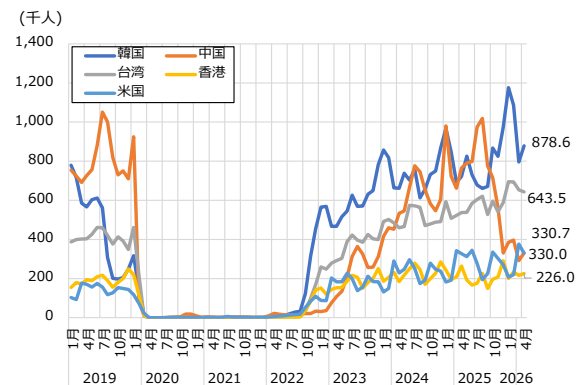


注：2024年まで確定値、25年、26年1-2月は暫定値。

2026年3-4月は推計値

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移

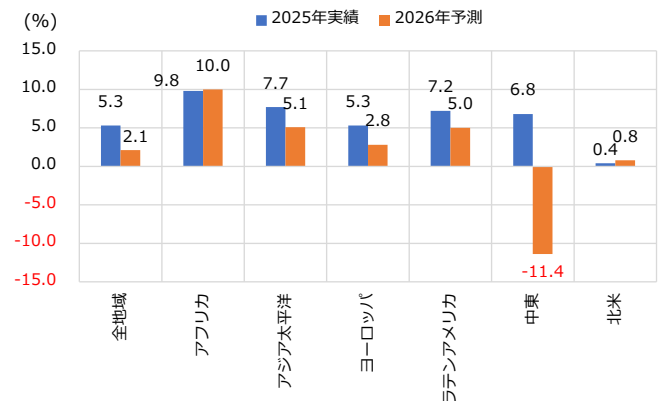


注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図3 旅客輸送需要量の比較：2025年実績と26年予測：

前年比



出所：IATA“Global Outlook for Air Transport Energy in Crisis June 2026”より筆者作成

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 4月関西の財貨・サービス貿易の動向

▶ **関西 4月の輸出額は**前年同月比+23.4%と **19カ月連続で増加**し、増加幅は前月の同+12.9%から拡大した。また、**輸入額は**同+14.8%と3カ月連続の増加。結果、**関西の貿易収支は**+3,469億円と **15カ月連続の黒字**(図4)。輸出、輸入ともに増加したが、前者の伸びが後者の伸びを上回ったため、**黒字幅は**前年同月比+111.9%大幅拡大した。

▶ 対中国貿易動向をみると(図5)、**関西4月の対中国輸出は**前年同月比+24.4%(前月:同+18.0%)と **2カ月連続で増加**した。輸出増に寄与したのは、半導体等電子部品や非鉄金属等であった。また、**対中国輸入は**同+7.7%(前月:同+4.3%)と **6カ月連続の増加**。輸入増に寄与したのは無機化合物や事務用機器等であった。

▶ **4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**82万1,894人であった(図6)。前年同月比-17.2%と5カ月連続で減少し、減少幅は前月の同-9.3%から拡大。日中関係悪化の長期化が続いていることに加え、中東情勢悪化による航空便欠航が悪影響した。また、日本人出国者数は18万5,950人であった。前年同月比+7.6%と2カ月連続の増加。ただし、2019年同月比では-45.0%と前月の同-20.5%から減少幅は拡大しており、アウトバウンド需要は依然低迷している。

▶ サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数**(季節調整済み:2019-20年平均=100)をみれば(図7)、**4月は**106.7で前月比+1.3%と**3カ月ぶりのプラス**となった(前月:同-0.6%)。経済産業省は基調判断を「一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き」と前月から据え置いた。また、同月の**対面型サービス業指数***は106.9で同+0.6%と、**2カ月ぶりのプラス**(前月:同-1.4%)。うち、生活関連サービス業、娯楽業(同+2.2%、2カ月ぶり)、医療、福祉(同+0.5%、2カ月ぶり)等が上昇に寄与した。4月を1-3月平均と比較すると、第3次産業活動指数は+0.7%上昇だが、対面型サービス業指数は-0.0%小幅低下した(1-3月期:第3次産業活動指数:前期比+0.7%、対面型サービス業指数:同+0.6%)。

▶ **4月の観光関連指数****(季節調整済み:2019-20年平均=100)は(図7)、111.8と前月比+0.2%上昇し、**2カ月ぶりのプラス**(前月:同-1.6%)。うち、旅行業(同+15.0%、3カ月ぶり)や公園、遊園地・テーマパーク(同+2.8%、2カ月ぶり)等が上昇に寄与した。4月は1-3月平均比-0.2%低下した(1-3月期:前期比-0.7%)。

*対面型サービス業は、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「学習支援業」及び「医療、福祉」を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、「旅客運送業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「旅行業」、「映画館」、「劇場・興行団」及び「公園、遊園地・テーマパーク」の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

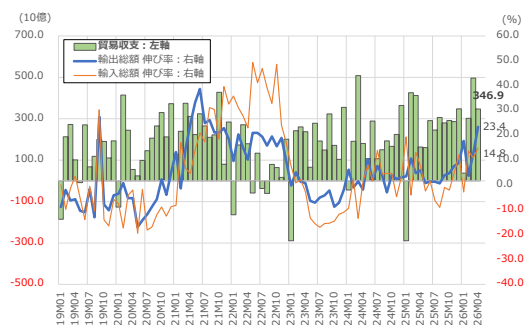
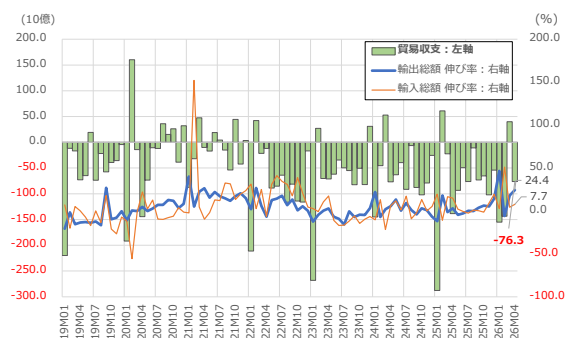


図5 関西 対中貿易の推移



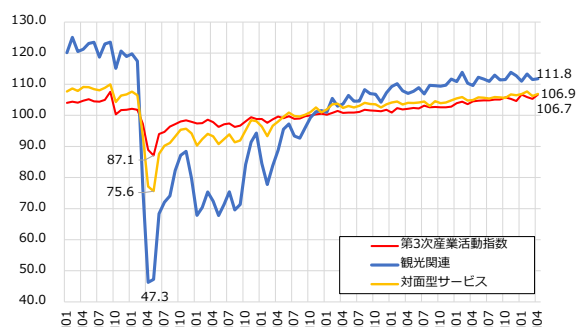
出所:『大阪税関貿易速報資料:近畿圏』より筆者作成(図4~5)

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2026年4月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業: 2019-20年平均=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 2月延べ宿泊者数の動向：関西 2府 8県

▶観光庁によれば、2月の関西 2府 8県の延べ宿泊者数(全体)は 9,124.2 千人泊(表 1)。前年同月比-3.9%と 5 カ月連続の減少だが、前月の同-12.2%から減少幅は縮小した。

▶日本人延べ宿泊者数は 5,981.0 千人泊となった。前年同月比-5.2%と 5 カ月連続で減少した(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,092.5 千人泊と最も多く、次いで、京都府 984.8 千人泊、兵庫県 981.6 千人泊となった。また、三重県 571.7 千人泊、滋賀県 312.5 千人泊、和歌山県 299.3 千人泊、福井県 242.0 千人泊、鳥取県 175.2 千人泊、奈良県 174.2 千人泊、徳島県 147.3 千人泊であった。関西 2月の前年同月比(-5.2%)に対する寄与度をみれば、減少に寄与したのは、大阪府(同-4.5%ポイント)、京都府(同-1.6%ポイント)、兵庫県(同-0.6%ポイント)等の 5 府県であった。

▶外国人延べ宿泊者数は 3,143.1 千人泊であった(表 1 及び図 9)。前年同月比-1.3%と 8 カ月連続の減少だが、前月(-23.2%)からマイナス幅は縮小した。春節休暇の影響もあり、減少幅は前月から縮小したことが影響した。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,896.3 千人泊、京都府 930.1 千人泊と 2 府への集中が続いている。ただし、大阪府では 9 カ月連続、京都府では 4 カ月連続で減少していることに注意。また、兵庫県 151.0 千人泊、和歌山県 41.7 千人泊、滋賀県 27.2 千人泊、奈良県 26.1 千人泊、三重県 25.6 千人泊、鳥取県 21.4 千人泊、徳島県 14.2 千人泊、福井県 9.7 千人泊であった。関西 2月の前年同月比(-1.3%)への寄与度をみれば、京都府(同-3.2%ポイント)、大阪府(同-0.3%ポイント)、奈良県(同-0.1%ポイント)と福井県(同-0.0%ポイント)の 4 府県が外国人延べ宿泊者の減少に寄与した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019年=100)をみれば、2026年4月は 77.6 となった。前年同月比-1.1%と 37 カ月連続の悪化だが、賃金上昇が 3 カ月連続で 3%超となったため、悪化幅は 5 カ月連続で縮小した(図 10)。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

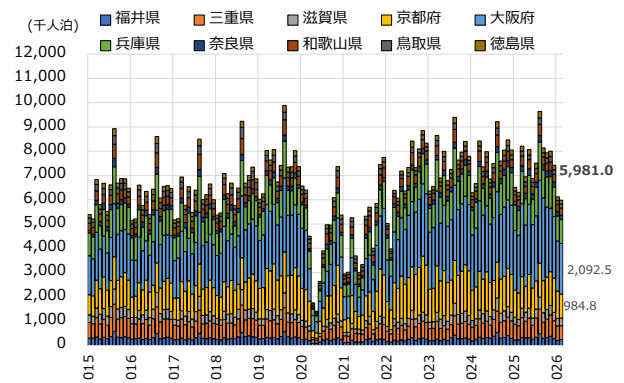


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

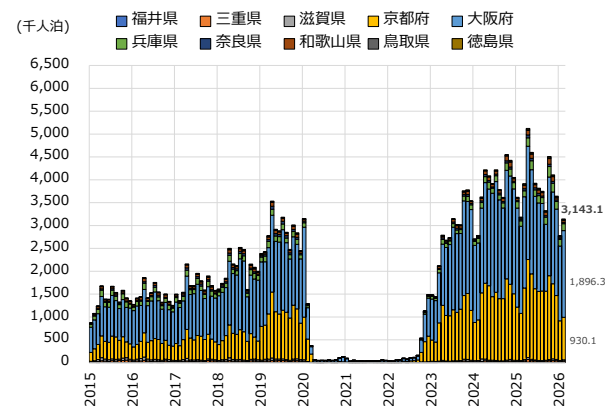
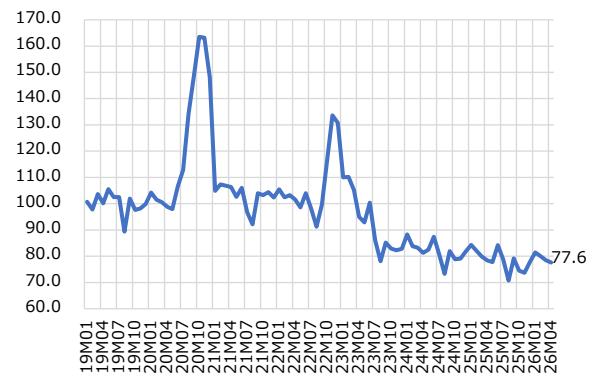


図 10 宿泊料金と賃金の交易条件



注：交易条件は賃金(現金給与総額)を宿泊料金(消費者物価)で除した指数。2019年平均を 100

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計』

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：2月

| | 総数 | | | | 日本人 | | | | 外国人 | | | |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 延べ宿泊者数： (千人泊) | 前年比伸び率： 当月(%) | 当月寄与度 (%ポイント) | 前年比伸び率： 前月(%) | 延べ宿泊者数： (千人泊) | 前年比伸び率： 当月(%) | 当月寄与度 (%ポイント) | 前年比伸び率： 前月(%) | 延べ宿泊者数： (千人泊) | 前年比伸び率： 当月(%) | 当月寄与度 (%ポイント) | 前年比伸び率： 前月(%) |
| 福井県 | 251.7 | 2.8 | 0.1 | -6.2 | 242.0 | 3.0 | 0.1 | -5.8 | 9.7 | -2.4 | 0.0 | -14.9 |
| 三重県 | 597.3 | 0.4 | 0.0 | -9.6 | 571.7 | -1.2 | -0.1 | -9.3 | 25.6 | 61.3 | 0.3 | -19.5 |
| 滋賀県 | 339.7 | 19.2 | 0.6 | 10.5 | 312.5 | 18.8 | 0.8 | 10.2 | 27.2 | 24.6 | 0.2 | 14.0 |
| 京都府 | 1,914.9 | -9.6 | -2.1 | -13.0 | 984.8 | -9.3 | -1.6 | 0.2 | 930.1 | -9.8 | -3.2 | -25.6 |
| 大阪府 | 3,988.8 | -6.9 | -3.1 | -20.1 | 2,092.5 | -12.0 | -4.5 | -16.1 | 1,896.3 | -0.5 | -0.3 | -24.5 |
| 兵庫県 | 1,132.6 | -0.6 | -0.1 | -1.5 | 981.6 | -3.7 | -0.6 | -2.1 | 151.0 | 26.5 | 1.0 | 3.1 |
| 奈良県 | 200.3 | 4.4 | 0.1 | 14.8 | 174.2 | 6.5 | 0.2 | 19.6 | 26.1 | -7.7 | -0.1 | -10.9 |
| 和歌山県 | 341.0 | 12.2 | 0.4 | 2.7 | 299.3 | 9.2 | 0.4 | 7.1 | 41.7 | 39.0 | 0.4 | -28.0 |
| 鳥取県 | 196.6 | 24.8 | 0.4 | 20.6 | 175.2 | 19.6 | 0.5 | 19.5 | 21.4 | 95.4 | 0.3 | 32.4 |
| 徳島県 | 161.5 | -7.9 | -0.1 | -7.1 | 147.3 | -9.2 | -0.2 | -6.6 | 14.2 | 8.6 | 0.0 | -12.3 |
| 関西2府8県 | 9,124.2 | -3.9 | -3.9 | -12.2 | 5,981.0 | -5.2 | -5.2 | -6.0 | 3,143.1 | -1.3 | -1.3 | -23.2 |
| 全国 | 47,653.1 | -0.6 | - | -7.0 | 33,615.3 | -1.6 | - | -3.3 | 14,037.8 | 2.0 | - | -15.3 |

注：表中の赤枠は寄与度が高い TOP3 を示している。出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8~9 及び表 1)

トピックス 3

● 2026年1-3月期国内旅行消費の動向：関西2府8県*

▶観光庁によれば、2026年1-3月期関西(2府8県ベース)の国内旅行消費額(速報)は1兆1,468億円となった(表2)。前年同期比-0.5%と9四半期ぶりの減少に転じた(10-12月期：同+7.1%)。

▶国内旅行消費額のうち、1-3月期の宿泊旅行消費額は9,230億円であった(図11及び表2)。前年同期比-3.1%と9四半期ぶりのマイナス(10-12月期：同+7.1%)。府県別に宿泊旅行消費額を降順にみれば、大阪府3,034億円(同-6.8%)、京都府2,016億円(同+21.6%)、兵庫県1,447億円(同-3.1%)、三重県1,153億円(同+34.0%)、滋賀県399億円(同-34.8%)、奈良県327億円(同+32.9%)、鳥取県283億円(同+9.6%)、福井県223億円(同+28.3%)、和歌山県223億円(同-67.6%)、徳島県125億円(同-55.6%)であった。

▶国内旅行消費額のうち、1-3月期の日帰り旅行消費額は2,237億円であった。前年同期比+12.2%と4四半期連続のプラスとなり、増加幅は前期(同+7.3%)から拡大した(図12及び表2)。府県別に日帰り旅行消費額を降順にみれば、大阪府734億円(同+19.8%)、兵庫県445億円(同-5.6%)、三重県322億円(同+16.6%)、京都府315億円(同+18.2%)、滋賀県111億円(同+2.7%)、福井県93億円(同+12.4%)、奈良県80億円(同+47.3%)、和歌山県74億円(同+57.3%)、徳島県32億円(同-36.8%)、鳥取県31億円(同+23.6%)であった。

*トピックス3は四半期ごとの掲載である。

図11 関西2府8県 宿泊旅行消費額の推移

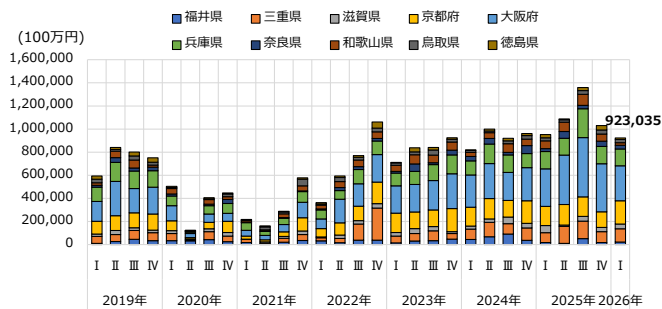
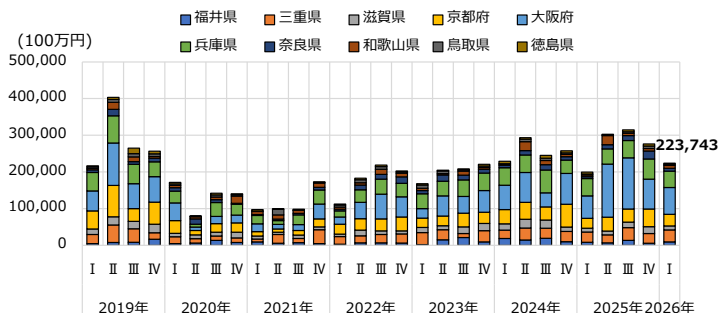


図12 関西2府8県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む

2025年までは確報。26年は速報(上図も同様)

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より筆者作成(図11及び12)

表2 関西 国内旅行消費額：2026年1-3月期

| | 国内旅行消費額 | | | 宿泊旅行消費額 | | | 日帰り旅行消費額 | | |
|---------------|------------------|---------------------|-----------------------|----------------|---------------------|-----------------------|----------------|---------------------|-----------------------|
| | 消費額： 100万円 | 前年比伸び率： 1-3月期(%) | 前年比伸び率： 10-12月期(%) | 消費額： 100万円 | 前年比伸び率： 1-3月期(%) | 前年比伸び率： 10-12月期(%) | 消費額： 100万円 | 前年比伸び率： 1-3月期(%) | 前年比伸び率： 10-12月期(%) |
| 福井県 | 31,609 | 23.2 | -49.4 | 22,328 | 28.3 | -51.0 | 9,281 | 12.4 | -43.3 |
| 三重県 | 147,494 | 29.7 | -11.2 | 115,280 | 34.0 | -12.9 | 32,215 | 16.6 | -4.6 |
| 滋賀県 | 51,015 | -29.2 | 6.4 | 39,937 | -34.8 | -6.9 | 11,078 | 2.7 | 50.1 |
| 京都府 | 233,109 | 21.1 | -28.7 | 201,613 | 21.6 | -30.8 | 31,496 | 18.2 | -22.2 |
| 大阪府 | 376,822 | -2.6 | 34.5 | 303,389 | -6.8 | 45.6 | 73,433 | 19.8 | -3.0 |
| 兵庫県 | 189,133 | -3.7 | 29.2 | 144,657 | -3.1 | 22.5 | 44,476 | -5.6 | 51.5 |
| 奈良県 | 40,683 | 35.5 | -13.4 | 32,726 | 32.9 | -33.7 | 7,956 | 47.3 | 139.6 |
| 和歌山県 | 29,731 | -59.6 | 8.4 | 22,302 | -67.6 | 9.2 | 7,429 | 57.3 | 1.9 |
| 鳥取県 | 31,407 | 10.9 | 22.3 | 28,262 | 9.6 | 16.4 | 3,145 | 23.6 | 65.1 |
| 徳島県 | 15,774 | -52.7 | 82.1 | 12,540 | -55.6 | 107.7 | 3,235 | -36.8 | 1.2 |
| 関西2府8県 | 1,146,778 | -0.5 | 7.1 | 923,035 | -3.1 | 7.1 | 223,743 | 12.2 | 7.3 |

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より筆者作成

表4 2026年4月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

| 国・地域 | 総数 Total | | | 総数 Total | | |
|----------|-----------|-----------|--------|------------|------------|--------|
| | 2025年 | 2026年 | 伸率 (%) | 2025年 | 2026年 | 伸率 (%) |
| | 4月 | 4月 | | 1~4月 | 1~4月 | |
| 総数 | 3,909,128 | 3,692,200 | -5.5 | 14,447,003 | 14,375,800 | -0.5 |
| 総数(中国除く) | 3,143,939 | 3,361,500 | 6.9 | 11,316,553 | 12,971,500 | 14.6 |
| 韓国 | 721,672 | 878,600 | 21.7 | 3,227,855 | 3,936,700 | 22.0 |
| 中国 | 765,189 | 330,700 | -56.8 | 3,130,450 | 1,404,300 | -55.1 |
| 台湾 | 537,638 | 643,500 | 19.7 | 2,161,301 | 2,685,000 | 24.2 |
| 香港 | 263,649 | 226,000 | -14.3 | 911,248 | 876,300 | -3.8 |
| タイ | 158,470 | 164,800 | 4.0 | 520,304 | 557,800 | 7.2 |
| シンガポール | 59,996 | 62,900 | 4.8 | 213,270 | 233,700 | 9.6 |
| マレーシア | 51,159 | 60,400 | 18.1 | 244,130 | 269,200 | 10.3 |
| インドネシア | 61,380 | 62,200 | 1.3 | 232,235 | 270,200 | 16.3 |
| フィリピン | 90,973 | 88,400 | -2.8 | 302,189 | 329,400 | 9.0 |
| ベトナム | 64,089 | 76,000 | 18.6 | 252,440 | 282,000 | 11.7 |
| インド | 37,352 | 41,900 | 12.2 | 99,463 | 117,700 | 18.3 |
| 豪州 | 115,235 | 102,500 | -11.1 | 428,948 | 447,100 | 4.2 |
| 米国 | 327,542 | 330,000 | 0.8 | 1,044,344 | 1,133,400 | 8.5 |
| カナダ | 72,587 | 70,300 | -3.2 | 227,468 | 249,500 | 9.7 |
| メキシコ | 21,793 | 21,200 | -2.7 | 56,521 | 76,600 | 35.5 |
| 英国 | 69,496 | 59,900 | -13.8 | 185,422 | 195,300 | 5.3 |
| フランス | 57,066 | 59,200 | 3.7 | 136,577 | 150,700 | 10.3 |
| ドイツ | 57,188 | 48,500 | -15.2 | 136,632 | 147,300 | 7.8 |
| イタリア | 45,592 | 30,000 | -34.2 | 90,935 | 85,700 | -5.8 |
| スペイン | 24,248 | 19,000 | -21.6 | 59,302 | 63,600 | 7.2 |
| ロシア | 23,170 | 25,800 | 11.4 | 52,592 | 67,000 | 27.4 |
| 北欧地域 | 22,760 | 19,900 | -12.6 | 60,552 | 69,800 | 15.3 |
| 中東地域 | 28,363 | 22,300 | -21.4 | 75,122 | 66,500 | -11.5 |
| その他 | 232,521 | 248,200 | 6.7 | 597,703 | 661,000 | 10.6 |

表5 2026年2月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

| 国・地域 | 総数 Total | | | 観光客 Tourism | | | 商用客 Business | | | その他客 Others | | |
|--------|-----------|-----------|-------|-------------|-----------|-------|--------------|--------|-------|-------------|---------|-------|
| | 2025年 | 2026年 | 伸率(%) | 2025年 | 2026年 | 伸率(%) | 2025年 | 2026年 | 伸率(%) | 2025年 | 2026年 | 伸率(%) |
| | 2月 | 2月 | | 2月 | 2月 | | 2月 | 2月 | | 2月 | | |
| 総数 | 3,258,491 | 3,466,848 | 6.4 | 2,965,065 | 3,215,752 | 8.5 | 94,042 | 77,787 | -17.3 | 199,384 | 173,309 | -13.1 |
| 韓国 | 847,358 | 1,086,381 | 28.2 | 821,185 | 1,060,434 | 29.1 | 14,499 | 12,485 | -13.9 | 11,674 | 13,462 | 15.3 |
| 中国 | 722,924 | 396,511 | -45.2 | 635,194 | 327,600 | -48.4 | 22,685 | 13,709 | -39.6 | 65,045 | 55,202 | -15.1 |
| 台湾 | 507,346 | 693,620 | 36.7 | 492,815 | 679,474 | 37.9 | 7,288 | 6,080 | -16.6 | 7,243 | 8,066 | 11.4 |
| 香港 | 195,543 | 233,940 | 19.6 | 191,689 | 230,035 | 20.0 | 1,862 | 1,706 | -8.4 | 1,992 | 2,199 | 10.4 |
| タイ | 116,797 | 116,955 | 0.1 | 112,798 | 113,084 | 0.3 | 2,017 | 1,914 | -5.1 | 1,982 | 1,957 | -1.3 |
| シンガポール | 42,270 | 51,288 | 21.3 | 39,719 | 49,255 | 24.0 | 2,032 | 1,542 | -24.1 | 519 | 491 | -5.4 |
| マレーシア | 64,859 | 59,744 | -7.9 | 62,363 | 57,773 | -7.4 | 1,240 | 829 | -33.1 | 1,256 | 1,142 | -9.1 |
| インドネシア | 47,026 | 51,198 | 8.9 | 36,827 | 38,986 | 5.9 | 1,275 | 1,053 | -17.4 | 8,924 | 11,159 | 25.0 |
| フィリピン | 66,698 | 71,697 | 7.5 | 56,262 | 60,074 | 6.8 | 5,235 | 6,203 | 18.5 | 5,201 | 5,420 | 4.2 |
| ベトナム | 73,813 | 61,079 | -17.3 | 7,585 | 17,465 | 130.3 | 2,676 | 1,996 | -25.4 | 63,552 | 41,618 | -34.5 |
| インド | 12,955 | 15,859 | 22.4 | 6,350 | 8,849 | 39.4 | 3,593 | 3,791 | 5.5 | 3,012 | 3,219 | 6.9 |
| 豪州 | 88,767 | 86,971 | -2.0 | 86,301 | 84,672 | -1.9 | 1,775 | 1,628 | -8.3 | 691 | 671 | -2.9 |
| 米国 | 191,494 | 219,741 | 14.8 | 178,831 | 207,303 | 15.9 | 9,241 | 9,041 | -2.2 | 3,422 | 3,397 | -0.7 |
| カナダ | 44,497 | 51,308 | 15.3 | 43,016 | 49,823 | 15.8 | 803 | 778 | -3.1 | 678 | 707 | 4.3 |
| メキシコ | 10,784 | 15,368 | 42.5 | 10,492 | 15,062 | 43.6 | 143 | 139 | -2.8 | 149 | 167 | 12.1 |
| 英国 | 31,408 | 35,616 | 13.4 | 27,919 | 32,615 | 16.8 | 2,412 | 1,943 | -19.4 | 1,077 | 1,058 | -1.8 |
| フランス | 26,518 | 30,563 | 15.3 | 23,793 | 28,022 | 17.8 | 1,615 | 1,385 | -14.2 | 1,110 | 1,156 | 4.1 |
| ドイツ | 18,643 | 21,932 | 17.6 | 15,553 | 19,210 | 23.5 | 2,329 | 1,960 | -15.8 | 761 | 762 | 0.1 |
| イタリア | 11,057 | 12,212 | 10.4 | 9,688 | 10,953 | 13.1 | 1,024 | 838 | -18.2 | 345 | 421 | 22.0 |
| ロシア | 5,668 | 7,696 | 35.8 | 4,793 | 6,952 | 45.0 | 540 | 419 | -22.4 | 335 | 325 | -3.0 |
| スペイン | 9,827 | 10,235 | 4.2 | 9,153 | 9,474 | 3.5 | 414 | 433 | 4.6 | 260 | 328 | 26.2 |
| 中東地域 | 10,809 | 10,014 | -7.4 | 9,773 | 9,243 | -5.4 | 640 | 521 | -18.6 | 396 | 250 | -36.9 |
| その他 | 111,430 | 126,920 | 13.9 | 82,966 | 99,394 | 19.8 | 8,704 | 7,394 | -15.1 | 19,760 | 20,132 | 1.9 |

注：目的別訪日外客数の定義については、レポート No.79 図3 の注参照。表中の赤枠は過去最高を更新した国及び地域
出所：日本政府観光局(JNTO)、2026年5月20日付より筆者作成(表4~5)